

2021年11月20日 土 10:00 - 17:35

ZOOMでのオンライン開催

主催：動物園ランドスケープ会議

共催：京都市動物園、(公財)東京動物園協会

後援：(公社)日本動物園水族館協会、(公社)日本造園学会、
(一社)ランドスケープコンサルタンツ協会、日本展示学会、ヒトと動物の関係学会

第2回動物園ランドスケープ会議開催プログラム

10:00 開会挨拶 若生謙二

10:05 山極壽一(総合地球環境学研究所)「メッセージ:動物園は野生の窓」

10:15 Jon Coe (Jon Coe Design)「Naturalistic Design - Enrichment and Respect」

10:45 若生謙二(大阪芸術大学)「動物園ランドスケープの創出方法」

11:15 福井亘(京都府立大学)「緑の効果と動物園」

11:45 中村元(中村元事務所)「水族館のランドスケープ」

12:15 昼食休憩

13:10 張東君(台北動物園)「臺北市立動物園廢棄木の再利用」

13:30 Monika Fiby (Zoo Design and Consulting)

「Preventing Bird Collisions with Glass」

13:50 Monika Lake (Auckland Zoo)

「An Aerial Pathway habitat: Structure and Landscape」

14:10 黒鳥英俊(JORC・BCTJ)「類人猿舎から変化するオランウータン施設へ」

14:30 古澤潤(茶臼山動物園)「既存樹林を活用したオランウータンの生息環境展示」

14:50 山下慎介(樹翔設計)「上野動物園新パンダ舎の展示手法について」

15:10 休憩

15:30 坂本英房(京都市動物園)「京都市動物園の『京都の森』」

15:50 本田直也(円山動物園)「爬虫類両生類館の屋内飼育環境におけるランドスケープ」

16:10 加藤郁理(UDS株)「水族館の展示におけるランドスケープの体系を考える」

16:30 小山奈穂(アトリエTMB)「展示場内の造形物に持たせる機能とそのデザイン」

16:50 岡野綾香(多摩動物公園)「事例報告:動物を魅せる植栽づくり」

17:10 山下博史(造園家)「感動を生む動物園施設づくり-気づき-」

17:30 - 17:35 閉会挨拶 山下博史



動物園ランドスケープ会議 設立趣意書

動物園は来園者が学び、憩う場であると共に、動物が快適に暮らし得る場でなければならず、人間と動物の双方にとって快適な環境をつくりだす必要がある。そのために植物は大きな役割を担っている。多くの野生動物は自然界では植物とともに暮らしており、植物なしに野生動物が生息することはできない。限られた敷地では植物との共存は困難であるといわれてきたが、近年、これを克服する技が生みだされるようになり、世界では動物園の展示に植物、土、水辺等の自然環境をとり入れることが主流になりつつある。

動物が暮らす生息地の環境に近づけることは、動物にとっての快適な暮らしをもたらすだけでなく、観覧者にとってもいきいきとした動物の生活とその環境を知るために必要な取り組みである。また、樹木は緑陰を提供するなど、動物と観客の双方にとっての快適性をもたらす。動物園はまた、都市の中の貴重な緑地であり、植物が生育していることは、都市の環境としても求められることである。植物は来園者の心に響く美しい展示をつくりだす下支えとなる。

動物園ランドスケープ会議は、動物園にこのような環境をつくりだすことをめざす集いである。動物園に緑、土、水辺をとり入れるための研鑽を行い、国内外の情報を共有し、その成果を広く世界に発信し、動物園を通じた自然との共生社会の実現に寄与することをめざしたい。関心のある方々の参加をお願いします。



参加料 4000 円（会誌「動物園ランドスケープ」創刊号、発表要旨集を含む）
申込方法 QRコードからお申し込みください。定員に達し次第締め切ります。
お問い合わせ zoo.landscape.jpn@gmail.com